



岩手県立宮古工業高等学校

創 立 : 1973(昭和48)年4月16日
 開校記念日 : 5月23日
 所 在 地 : 〒027-0202
 岩手県宮古市赤前第1地割81番地
 電 話 番 号 : 0193-67-2201
 F a x : 0193-67-2215
 ホームページ : <http://www2.iwate-ed.jp/myt-h/>
 交 通 機 関 : 三陸鉄道 津軽石駅から徒歩15分
 学 校 長 : 小原 貴 人

[地図はウェブサイトをご覧ください](#)

1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	平成31/令和元(2019)年度生徒数 () は女子内数			
			1年生	2年生	3年生	合計
全日制	機 械 科	1973(昭和48)年	18(1)	22(0)	28(1)	68(2)
	電 気 電 子 科	2006(平成18)年	27(0)	19(1)	16(0)	62(1)
	建 築 設 備 科	2006(平成18)年	23(3)	13(0)	17(0)	53(3)
合 計			68(4)	54(1)	61(1)	183(6)

2 本校の目指す生徒像

- ・ 楽しく学び、明るく活力のある生徒
- ・ 地域の復興に向け、共に助け合い積極的に地域貢献する生徒
- ・ 基本的な生活習慣とマナーを身に付けた生徒

3 令和2年度の入学者選抜方法について

令和2年度の募集定員や選抜方法等は、令和元年10月に確定します。

《参考資料》 平成31(2019)年度入学者選抜方法(平成31年1月及び3月に実施済みのもの)

①推薦入学者選抜(平成31年1月25日実施、概要は4ページ)

学科名	全学科(機械科、電気電子科、建築設備科)
定員	各科4人
検査内容	1 面接 2 作文

②一般入学者選抜(平成31年3月6日実施)

学科名	全学科(機械科、電気電子科、建築設備科)		
定員	各科40人		
ABC選考の割合(A : B : C)	A	B	C
	100%	0%	0%
各選考における学力検査と調査書・面接等の比率	5 : 5	3 : 7	7 : 3
面接	個人面接		
小論文・作文、適性検査	実施しません		

4 特色ある教育活動

①学習活動

全学科で学ぶ共通の普通教科と各学科の専門教科の2つの柱から構成されています。

このうち、専門教科は「工業技術基礎」「実習」「課題研究」など、充実した施設・設備で工業の専門技術を体験的に学習でき、各種の資格取得や研究発表などで成果を上げています。

②学科紹介

【機械科】

私たちの身近なところから宇宙まで機械技術は欠かせません。自動車や電車などの輸送機械、ロボットなどの産業用機械、携帯電話などの情報処理機械のように、機械は身の回りで多く使われています。このような機械製品を造るには図面が必要で、図面を描くには設計が必要です。設計をするためには、材料の知識も必要となります。このように機械に関する学習を行い、社会のニーズに合った勉強をおおして、『ものづくりの楽しさ、充実感』を味わってください。そして、卒業後も機械技術者として社会で活躍してください。

【電気電子科】

電気は生活する上で、なくてはならないものです。家庭に電気がきていないと困りませんか。

電気電子科では、発電・送電・配電や電気工事を中心とする強電分野と、携帯電話・テレビなどの内部に使われている電子回路やコンピュータを用いたプログラミング・インターネットなどの情報通信ネットワーク技術を中心とする弱電分野の双方を学ぶことができます。さらに、これらの技術を融合させた自動制御などについても学習します。

また、高校在学中に、各種電気工事を行うための電気工事士(第一種・第二種)や電気工事施工管理技術者(2級学科)、技能士(電子機器組立て・シーケンス制御)、情報通信ネットワーク社会に対応した工事担任者など、多くの国家資格を取得することもできます。

【建築設備科】

建築設備科では、人間が生活する上で基礎となる「衣食住」のうち、「住」に重点を置いた快適で安全な居住空間(amenity space)の創造について学び、個人住宅やマンション、公共建築としての劇場、図書館・病院等様々な建築形態に応じた「暮らしやすさ」を追究します。

- ① 建築・設備工事の「現場監督」ができるよう施工技術について学習します。
- ② 建築・設備工事の「設計」ができるよう、建築構造、空調設備、衛生、防災設備について学習します。
- ③ 「ビル管理」のための空調機や熱源装置(ボイラ・冷凍機)の制御について学習します。

※ 建築設備科を卒業することで、「建築士」の受験資格が得られます。

④取得できる主な資格

3級技能士(普通旋盤作業、電子機器組立て作業、シーケンス制御作業、建築配管作業)
機械保全技能士 計算技術検定 パソコン利用技術検定 危険物取扱者 情報技術検定
基礎製図検定 2級ボイラー技士 ガス溶接技能講習 アーク溶接特別教育 機械製図検定
第一種電気工事士 第二種電気工事士 アマチュア無線技士 ラジオ音響技能検定
デジタル技術検定 消防設備士 2級電気工事施工管理技術者 2級管工事施工管理技術者
工事担任者(AI種・DD種) CAD検定 など

※(社)全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度により、取得した資格に応じて「ジュニアマイスター・ゴールド」・「ジュニアマイスター・シルバー」の称号を受けることができます。

5 校長から一言

宮古工業高校は1973(昭和48)年に開校し、卒業生は5千名を超え、県内はもとより全国各地で活躍をしています。最近では海外に進出した日本企業が数多くの卒業生が活躍しています。

本校では、工業技術の基礎基本から、ロボット製作などの「ものづくり」や先端技術までを幅広く学び、これからの産業界を担う工業技術者及び将来の「スペシャリスト」を目指して日々学習に励むことができます。また、資格取得や部活動も盛んで活気にあふれています。

将来の夢を持ち、勉学と部活動に情熱をもって取り組む元気な皆さんを待っています。「ものづくり」に興味を持ち、本校で学ぶ強い意欲のある生徒を歓迎します。

6 必要となる諸経費の概要

年額 単位:円

	1学年	2学年	3学年	内訳
入学料	5,650			入学時
制服代	46,440(男) 81,324(女)			男子制服(上下)、開襟シャツ等 女子制服(上下)、ブラウス等
諸会費	53,400	98,400	53,400	PTA会費、教育振興費、生徒会費、進路指導費、同窓会記念事業積立金
予納金	85,500 ～91,500	23,500 ～38,500	31,500 ～33,000	学科によって違います。 副教材費、各種負担金
教科書代	10,105 ～12,655	6,160 ～7,650	2,115 ～5,280	学科、選択教科によって違います。
年間合計	201,095 ～244,529	128,060 ～144,550	87,015 ～91,680	
3年間合計	416,170～480,759			

7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- (1) 2014(平成26)年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- (2) この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3) 一定の所得未満とは、保護者等の道府県民税所得割と市町村民税所得割の合算額が50万7,000円未満です。
- (4) 手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定です。制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度(新制度)について」をご覧ください。 → http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制(月額)9,900円 定時制(月額)2,700円 通信制(1単位)190円

平成31年度推薦入学者選抜実施概要

学校番号	学 校 名	課 程
51	宮古工業高等学校	全日制

学科名	全学科（機械科、電気電子科、建築設備科）	定員	各科40人
募集定員	各科定員の10%（各科4人）		
推薦基準	<p>次の1～3の条件を満たした上で、4の条件のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 基本的生活習慣が身に付いている者 3 志望理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高校生活を送ることが期待される者 4 次のいずれかに該当する者 なお、(1)～(4)は応募資格A、(5)は応募資格Bに該当する <ol style="list-style-type: none"> (1) スポーツ活動：県大会出場または地区大会ベスト4以上で主力選手として活動した者、または、それと同等（スーパーキッズ認定者、地区選抜候補等）の実績のある者で、入学後に取り組む運動部が明確であり、3年間継続して活動する意欲のある者 (2) 文化活動：県大会に出場した者、または、各種コンクールに入賞した者で、入学後に取り組む文化部が明確であり、3年間継続して活動する意欲のある者 (3) 生徒会活動：生徒会役員、または、各種委員長を務めた者で、入学後も生徒会活動に意欲のある者 (4) ボランティア活動：継続的または顕著な実績がある者で、入学後も地域への貢献活動に意欲のある者 (5) ものづくり意欲：ものづくりに興味・関心が強く、志望する学科に対する目的意識が極めて具体的で、入学後も工業に関する資格取得に向けて意欲のある者 <p><本校にある部活動> 運動部：陸上競技(男女)、硬式野球(男)、卓球(男女)、ソフトテニス(男)、弓道(男女)、バレーボール(男)、ラグビー(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男)、柔道(男女)、剣道(男女) 文化部：工作、囲碁、芸術</p>		
検査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接 個人面接（15分） 2 作文 提示されたテーマについて、自分の考えをまとめる (1) 時間（50分） (2) 字数（600字程度） 		
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 調査書（180点） 「各教科の学習の記録」 1・2年の9教科の評定合計(各45点) + 3年の9教科の評定合計の2倍(90点) 2 実績及び面接（170点） 実績は、調査書及び志願理由書に記載されている内容 3 作文（50点） <p><合計 400点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する</p>		
一次選考の有無	無		